



☆2学期終了!☆

2学期が本日の終業式をもって終了しました。

市内では、10月から、新型コロナウイルスによる感染症も下火となって、徐々にではありますが、学校教育活動も平常時に戻りつつあります。

本校でも例年流行するインフルエンザの声もきかず、風邪による欠席者もほとんどいない状態で終業式を迎えることができました。ご家庭での健康管理の賜物だと実感しています。

明日25日から年をまたぎ1月10日までの冬休みに入ります。どうしても不規則な生活になりがちな年末年始です。ご家庭の大掃除をお子さんとも分担して家族の一員としての自覚を育てていただければと考えます。

4月からの9か月間ご理解ご協力いただきありがとうございました。来年もよろしく願いいたします。それでは、よいお年をお迎えください。

三者懇談会 ありがとうございました。

保護者の皆様、年末のたいへんお忙しい中、16日・17日の三者懇談会に足を運んでいただきまして、ありがとうございました。

懇談会の席で、1・2年生は2学期の成績を、3年生は1・2学期を通算した成績を通知表という形でお知らせさせていただきました。また、夏休み以降のお子さんのご家庭での様子と学校での様子を交流していただき、冬休み以降の学習や部活動、その他気になることなどを話し合いいただきました。

3年生はその後、県立高校前期選抜や私立高校・国立鈴鹿工業高等専門学校等の入学願書の記入をしていただき、長時間にわたる懇談会でした。お疲れ様でした。

いよいよ受験に向かう3年生に向けて…!

迷ったら前へ。苦しかったら前に。つらかったら前に。後悔するのはそのあと、そのずっと後でいい。

あなたの夢のチャレンジにとって、何がいちばんもったいないかと言うと、立ち止まってしまうことです。

立ち止まるとは、夢から目を離すこと、思考を停止させてしまうことなどの、夢を目指しての、最適、最高のチャレンジを止めることです。

単に行動を止めることではありません。もちろん「前」に進むということは、後退も、迂回も、断念もあるでしょう。

常に夢の実現に向けた、チャレンジをしていることが、立ち止まらないことです。

休息することも、疲労を蓄積しないことも、体調を常に万全にしておくことも、重要なチャレンジのひとつです。

チャレンジをすることは、決して、無茶や無理をすることではありません。無茶や無理をするのは、余程

のことがない限り、いざという時くらいで充分でしょう。無茶や無理のツケは、必ず、後々悪影響として出てきます。

それよりも、無理をしなくてもいいように、日々のチャレンジのレベルを上げることですね。

チャレンジをするか、しないかで、迷うということは、上手くいけば、成果が見込めると、感じているからこそ迷うのですから。

これは、間違いなくチャレンジですね！成果の可能性を感じなければ、迷うことはありません。

もちろん、全てのチャレンジが、上手くいくとは限りません。

上手くいかなかったとしても、その結果を踏まえて、次の道が見えてきますが、迷って、チャレンジをしなれば、永遠にその結果を知ることは出来ません。

分岐点で、右か左かで迷った時は、目指す夢さえはっきりしていれば、どちらに進んだとしても、それほどの大差はないでしょう。

ここで大切なのは、チョイスするタイミングを逃さないことです。あれこれ悩んでいるうちに、タイミングを逃してしまうことは、よくあることです。

チャンスや、人や出来事との出会いは、そのタイミングで、選択する意味があるからこそ、そのタイミングで訪れるものです。

常に、夢のことを考えていれば、才能をひたすら磨きこんでいけば、チャンスに迷うことはありません。

迷う時間が長くなることは、まだ、夢が明確になっていないか、寝ても覚めても、夢のことに思いを巡らせている状態になっていないケースが大半ですね。

苦しいとき、辛いときほど、夢から目を離さずに、チャレンジしていくことです。

立ち止まって、チャレンジのエネルギーの放出を止めてしまうと、状況は、あなたのエネルギーに応じて動きますから、好転することはありません。

状況を唯一変えられるのは、あなたが放つエネルギーだけです。

もちろん、待つこと、休息することが、夢へのチャレンジの最適の選択であれば、それはチャレンジのエネルギーを放出していることです。

どうぞ、常にチャレンジを止めないでください。チャレンジに後悔はありません。チャレンジしなかった後悔の方が、ずっと、大きく、尾を引きます。

間違いなく、あなたの夢も、天賦の才も、あなたのチャレンジを待っています。

by 星野仙一(中日ドラゴンズ、阪神タイガース、楽天イーグルス 元監督)

それでは、元気な顔で1月11日にお会いしましょう！！よいお年をお迎えください。

